

東北地方太平洋沖地震の津波警報及び 津波情報に関わる面談調査結果(速報)

内閣府・消防庁・気象庁共同調査(サンプリング調査)

本資料は、東北地方太平洋沖地震に関する聞き取り調査のうち、
津波警報及び津波情報に関わる事項の一部を単純集計したもの(速報版)

I . 津波避難等に関する調査概要

1. 調査の趣旨

津波避難行動と被害の関係を分析し、今後必要な避難対策を進める上での資料とするため、避難者の避難行動等に関する実態調査を実施。(内閣府・消防庁・気象庁共同調査)

2. 調査の対象

1) 調査対象者

岩手県、宮城県、福島県の沿岸地域の住民
(岩手県(391名)、宮城県(385名)、福島県(94名))

2) 調査方法

仮設住宅・避難所を訪問し、面接方式で実施
(調査員が調査票を持参し、本人の了解を取った上で一問一答でやりとりする方式)

3) 調査時期

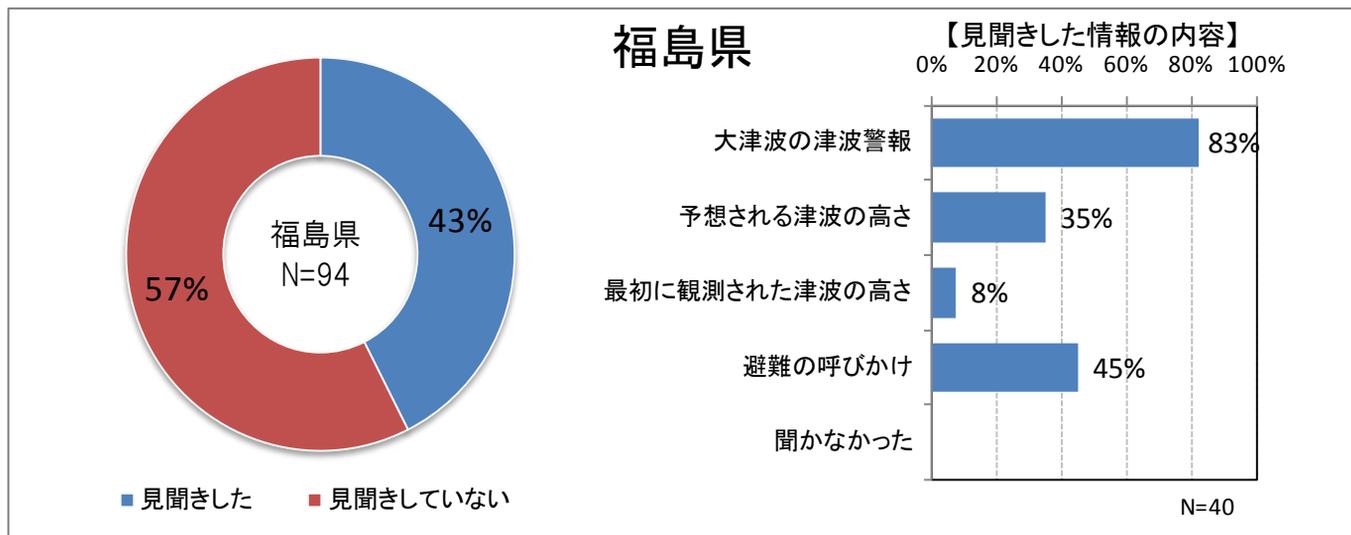
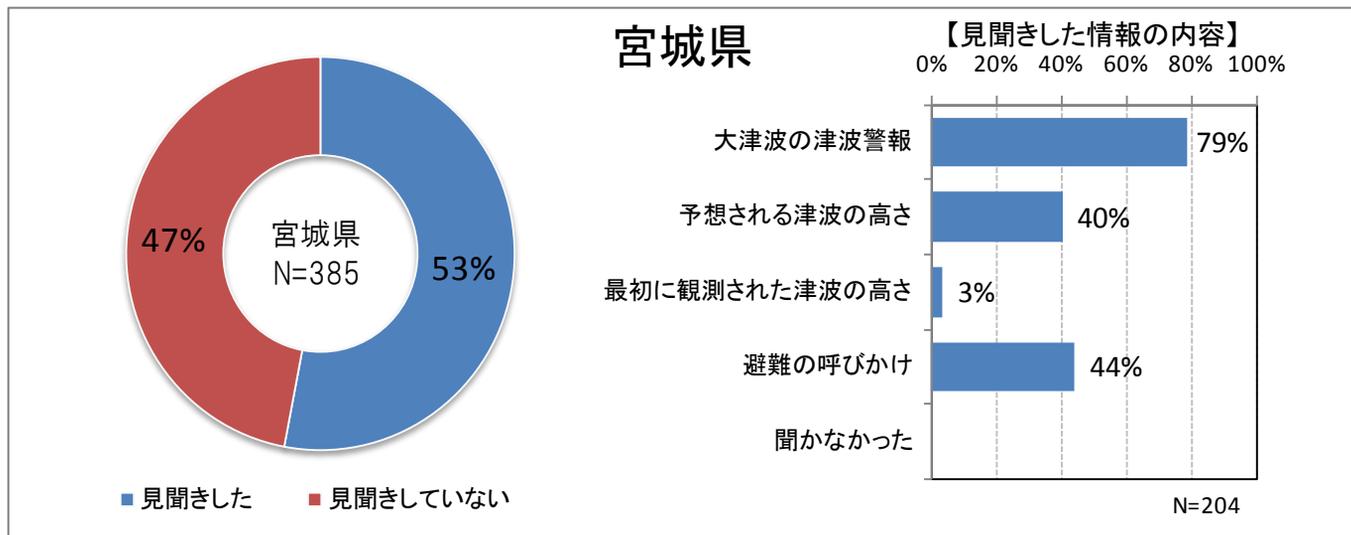
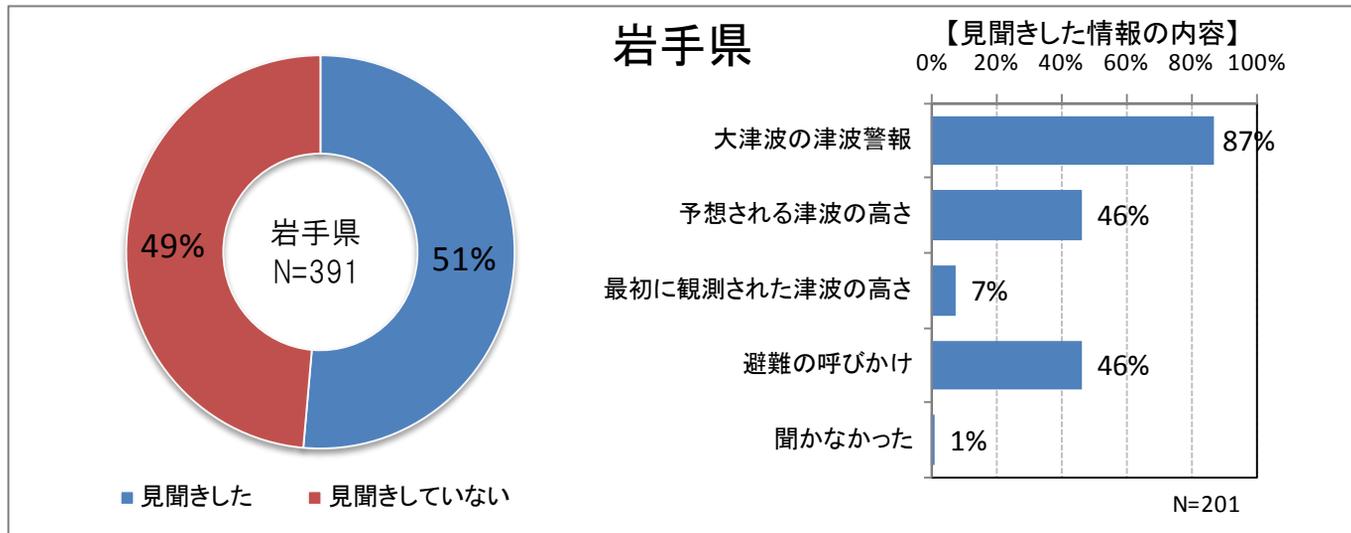
7月上旬から下旬

3. 今回報告する内容

調査項目のうち、津波警報及び津波情報に関わる事項等の一部を単純集計し、速報としてとりまとめたもの

Ⅱ-1. 津波情報や避難の呼びかけなどの見聞き

問 避難するまでの間に津波情報や避難の呼びかけを見聞きしましたか。その情報は何か。



Ⅱ-2. 情報の入手先(手段)

問 どのようにして情報を見聞きしましたか。

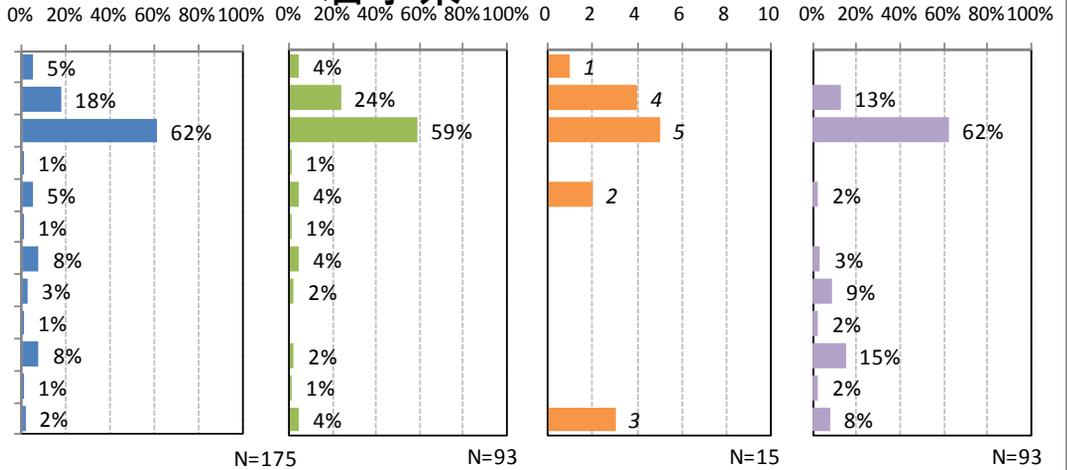
大津波の
津波警報

予想される
津波の高さ

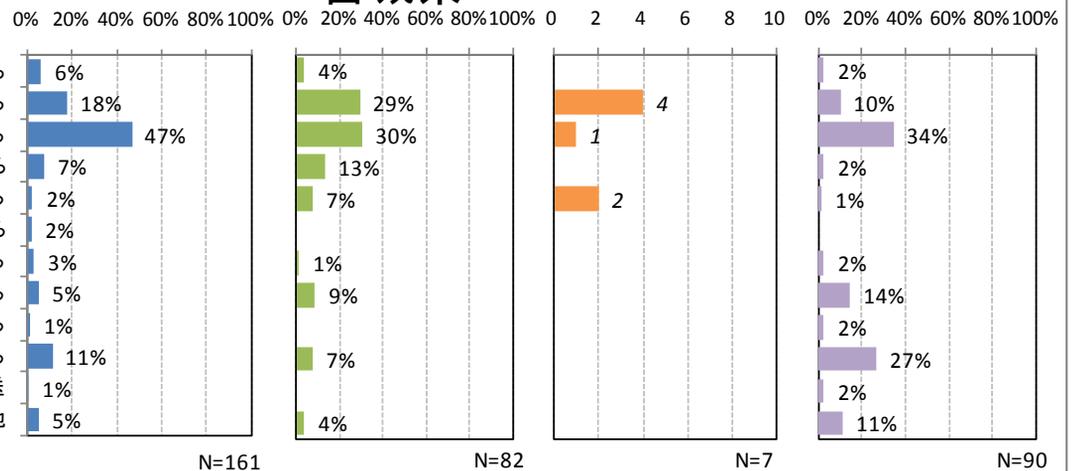
最初に観測された
津波の高さ

避難の呼びかけ

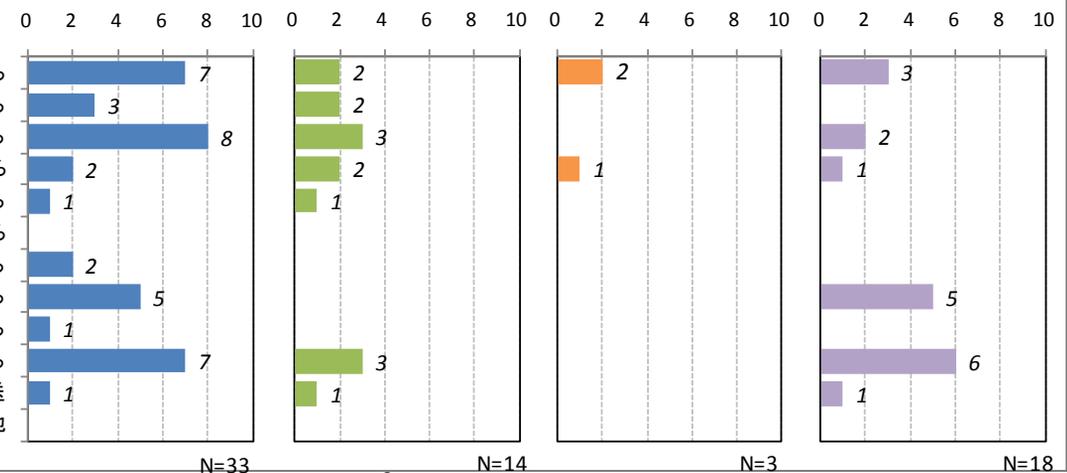
岩手県



宮城県



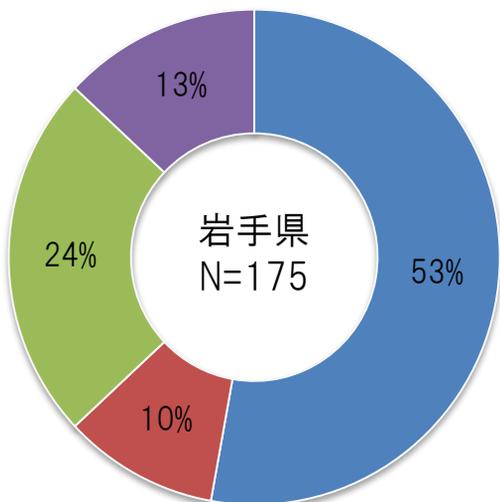
福島県



Ⅱ－3. 津波警報の避難判断への影響

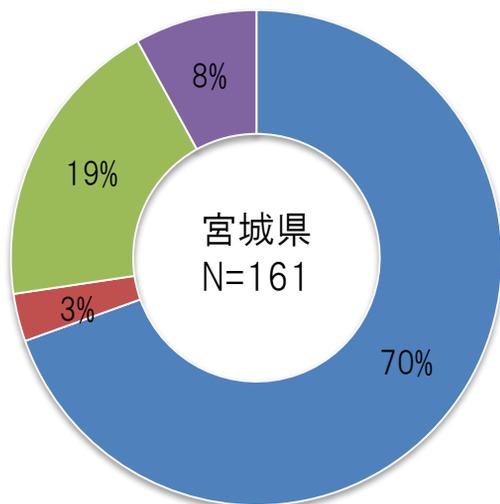
問 津波警報は避難の判断に影響しましたか。

岩手県



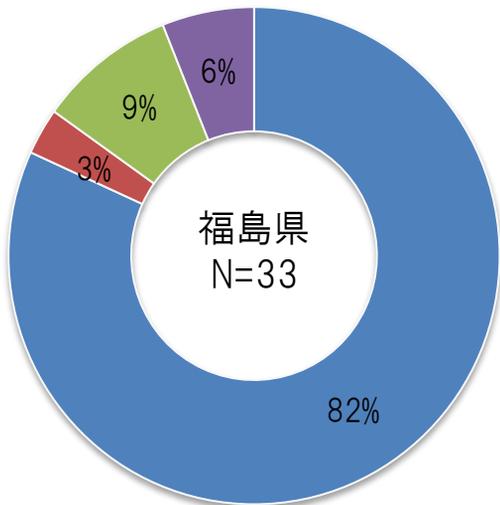
- 避難しなければという意識が高まった
- 聞いた津波の高さであれば避難しなくても大丈夫だろうと思った
- 特に影響はなかった
- 直ぐに避難したので津波情報は避難の判断に関係なかった

宮城県



- 避難しなければという意識が高まった
- 聞いた津波の高さであれば避難しなくても大丈夫だろうと思った
- 特に影響はなかった
- 直ぐに避難したので津波情報は避難の判断に関係なかった

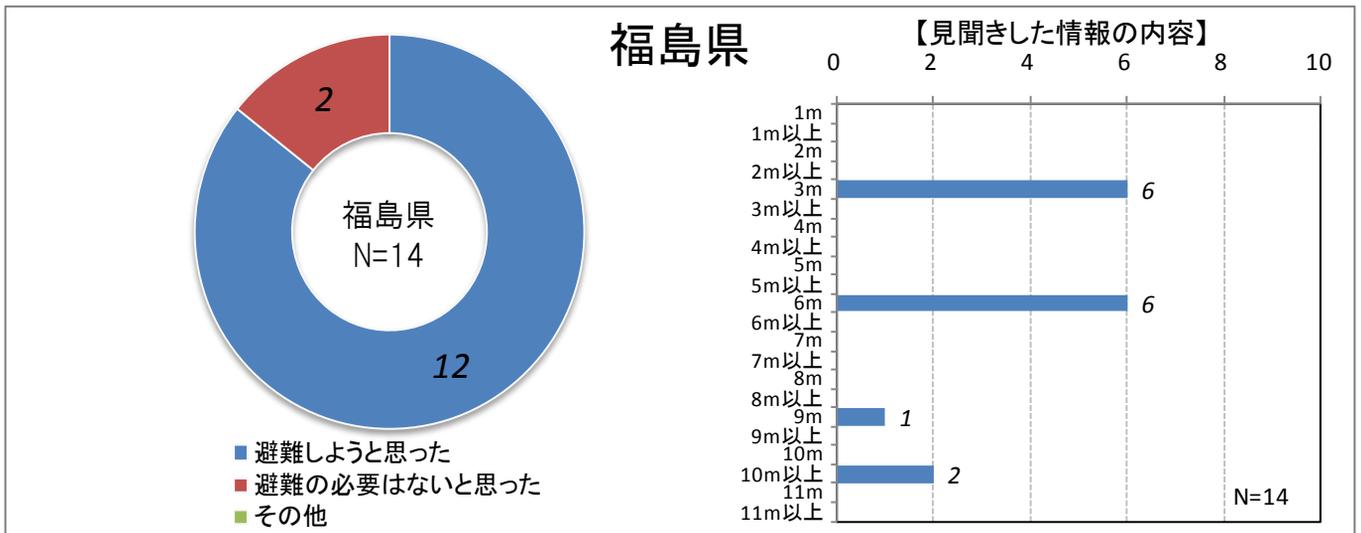
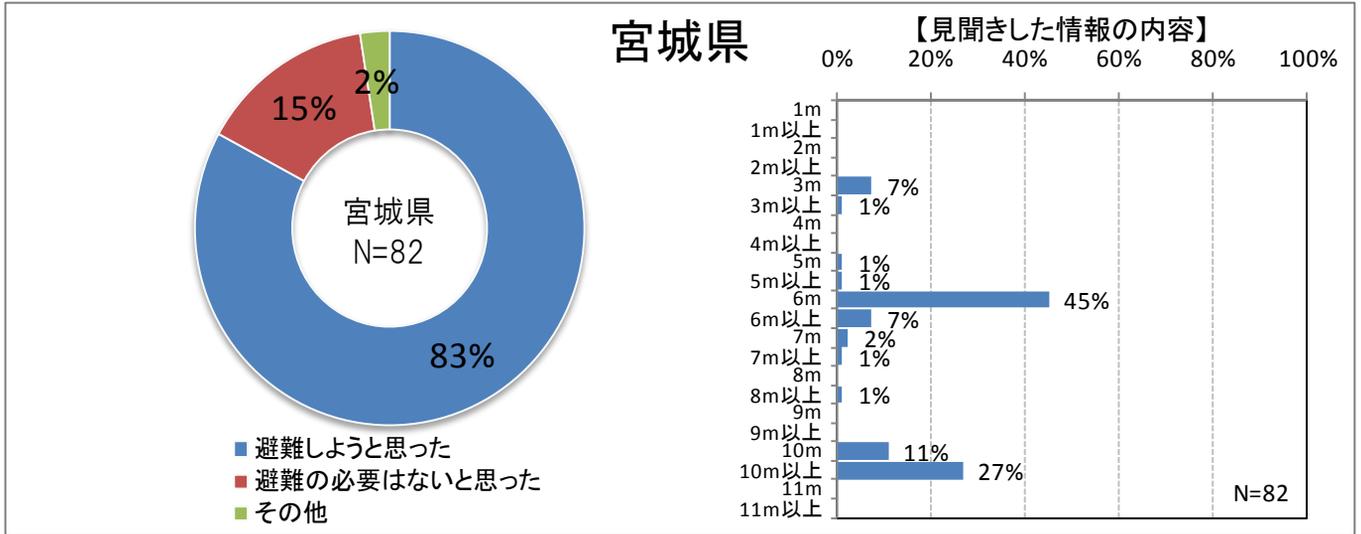
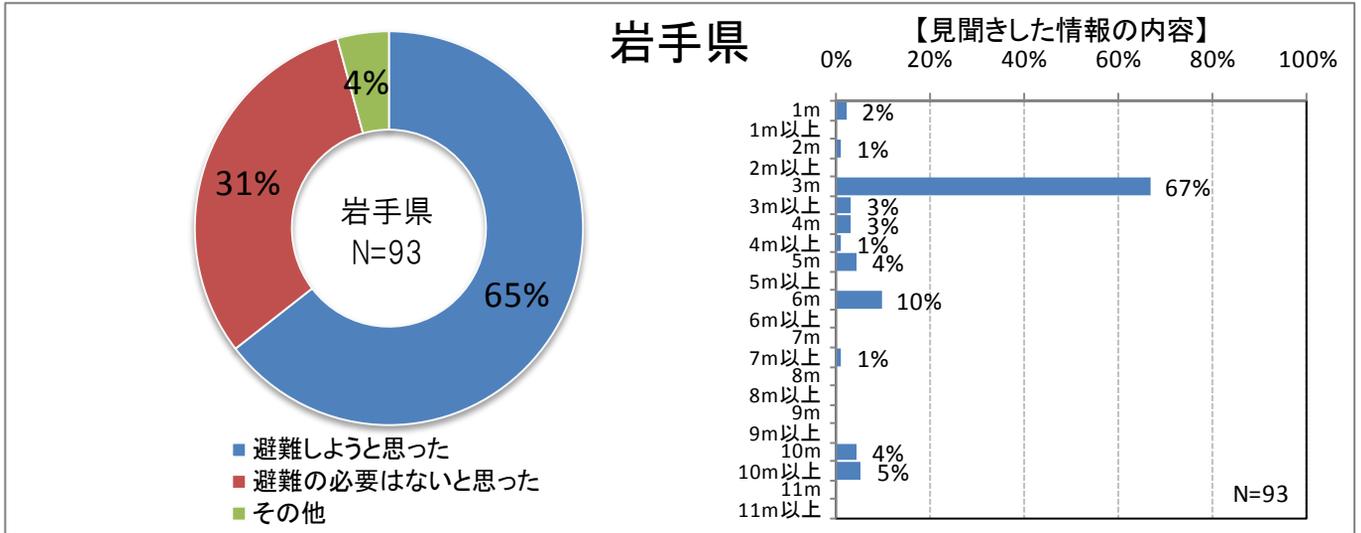
福島県



- 避難しなければという意識が高まった
- 聞いた津波の高さであれば避難しなくても大丈夫だろうと思った
- 特に影響はなかった
- 直ぐに避難したので津波情報は避難の判断に関係なかった

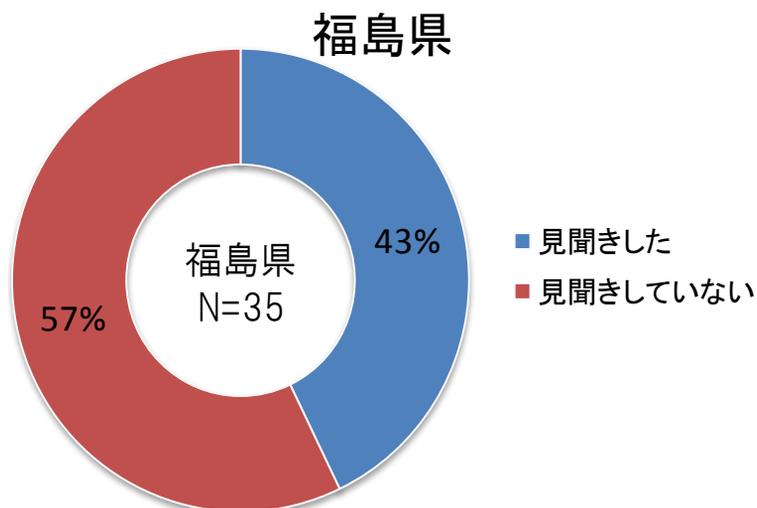
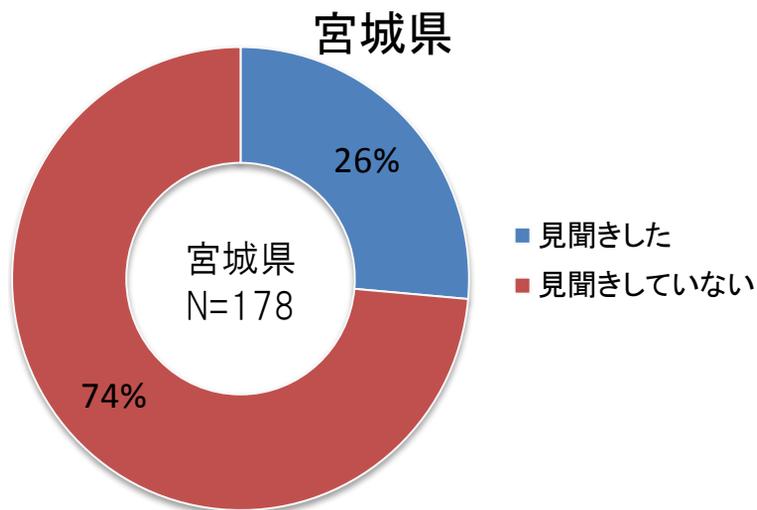
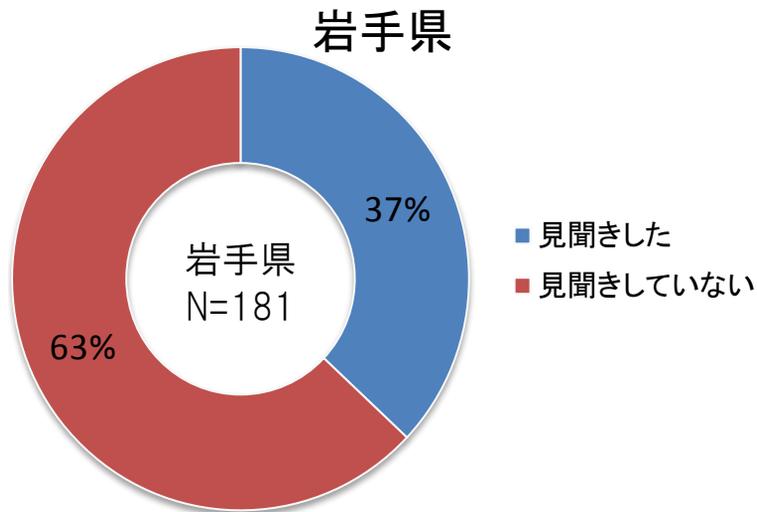
Ⅱ-4. 予想される津波の高さの避難判断への影響

問 予想される津波の高さを見聞きして、どのように思いましたか。



Ⅱ-5. 更新情報の見聞き

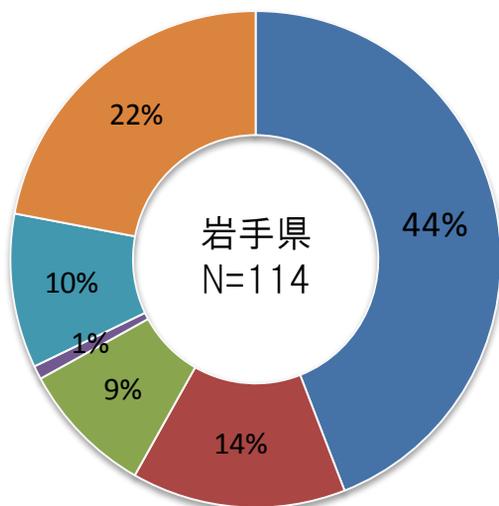
問 津波が来るまでの間、気象庁から発表された「予想される津波の高さ」は、最初に発表された高さよりも高くなっていきました。あなたはそれを見聞きしましたか。



Ⅱ-6. 更新情報を見聞きしていない理由

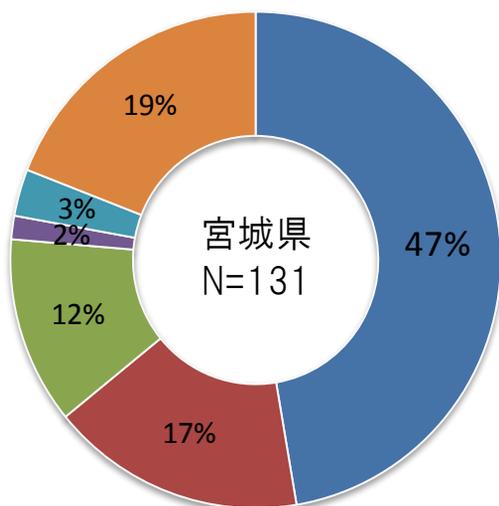
問 更新された「予想される津波の高さ」を見聞きしていない理由は何ですか。

岩手県



- 避難のため情報を聞く余裕がなかった
- 役場や防災行政無線からそういった情報はなかった
- テレビ・ラジオが停電で使えなくなった
- 携帯電話が使えなくなった
- 津波の高さの情報に注意していなかった
- その他

宮城県



- 避難のため情報を聞く余裕がなかった
- 役場や防災行政無線からそういった情報はなかった
- テレビ・ラジオが停電で使えなくなった
- 携帯電話が使えなくなった
- 津波の高さの情報に注意していなかった
- その他

福島県



- 避難のため情報を聞く余裕がなかった
- 役場や防災行政無線からそういった情報はなかった
- テレビ・ラジオが停電で使えなくなった
- 携帯電話が使えなくなった
- 津波の高さの情報に注意していなかった
- その他